

第1講座「グラフィックファシリテーション」

考えや思いの「見える化」を学ぶ！

～ “見える化することで分かりやすくなる” など、講座を受講したみんなが見える化のよさや意義を対話することを通して学ぶことができました。～



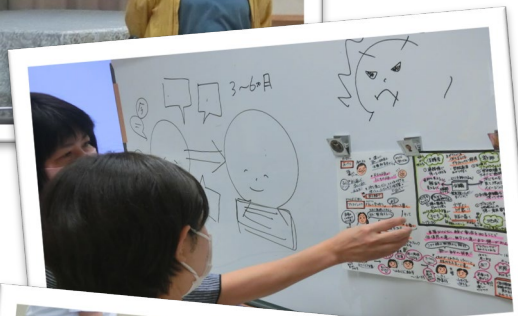
7月5日(火)に南安曇教育文化会館で安曇野市教育会と信濃教育会共催の教師塾B 第1講座「グラフィックファシリテーション」の研修が行われました。指導していただいたのは、グラフィッククラブ原 智美先生と織部郁代先生です。研修内容を言葉と絵でまとめる(グラフィックレコーディングといいます)役として同クラブの西澤智美先生にも参加していただきました。



グラフィックファシリテーションとは「絵や色線のゆらぎなどを使ったファシリテーションで『場』を活性化し、深めていく。」ことだということですが、その一部の「見える化」について学びました。自分の考えや思いを絵や図、簡単な言葉で見える化して、自分の頭の中を整理したり、他者と共有する手助けをしたりすることはとても有効だと感じます。絵が苦手な人もちょっとしたコツをつかめば表情や感情を表すことができます。また、他者との共有では、話すだけでは分からない自分の思いや相手の考えを関心を持って深めることができます。



自己理解や他者理解のためにペアで学び、4人で討議することを通して、グラフィックファシリテーションのよさを体感しました。また、教育現場でどう活用できるか考えることができました。



受講者の感想

★難しく考えずに小さな絵から始められたらいいなと思いました。見える化することでお互いをより理解することもできるし、自分で自分を理解する(見つめ直す)こともできるので、時々やってみるのもいいなと思いました。

★自分自身「文字だけ」「口頭で話すだけ」では、全く情報を整理できず、困ってしまうことがあります。時間をかけてゆっくりと理解をしてきましたが、絵を活用してメモを作れたらいいなと思いました。自分と相手、相互の分からなさや不明瞭感をスムーズにしたり、解消したりしていくのに使えるツールだと思い、非常に勉強になりました。ペアの先生と楽しくワークできたので良かったです。